



リレートークの参加者1122日、岐阜県瑞穂市、JR穂積駅前

## リレートークに飛び入りも 岐阜・瑞穂市

岐阜県瑞穂市のJR穂積駅前で22日、戦争法案の廃案をめざす「リレートーク集会」が行われ、30人が参加しました。主催は同実行委員会。

中心になったのは、日本共産党瑞穂市委員長の小川理氏（市議候補）、市議のくまがいさちこ氏（無所属）、西岡一成氏（無所属）の3人。6月市議会で安保法案の慎重審議を求める意見書が不採択となり、何らかの行動を起こそうと協力者を募り、実行委員会を結成。先月18日に1回目の「アベ政治を許さないリレートーク集会」を20人で行い、呼びかけ人は現職市議、元市議、弁護士、大学教授など15人に広がりました。

駅前の通路に横断幕、パネルを掲げ、通行人に向かってアピール。

リレートークでは、手続き無視の解

釈改憲は反対（大学准教授）、立憲主義を破壊する暴挙に反対（弁護士）、遺族会、年金者、瑞穂9条の会のメンバーが憲法の本質を守るべき、若者を戦地に送らない、ストップさせようと発言しました。

飛び入りトークで、日本共産党の高木光弘参院選挙区候補や元市議、無所属議員が続いて訴えました。

仕事で穂積駅にきた青年（28）が「僕も話していいですか」とマイクを握り、「祖母から戦争はいけないと言われてきた。テレビで若者や高校生が戦争はいやだと言っているのをみて当然のことだと思う。人ごとではない。アメリカのいうままになっては怖い。戦争準備する安倍政権はよくない。僕も反対です」と語ると、大きな拍手がわきました。